

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2024年6月27日	
都道府県知事 (市長)	殿
提出者 住 所 福岡市中央区那の津5丁目3番1号 氏 名 JA北九州ファーム株式会社 代表取締役社長 坂爪 義弘 電話番号 092-738-2002	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	JA北九州ファーム(株) 直入農場
事業場の所在地	大分県竹田市直入町大字長湯8572-21
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	01 農業
②事業の規模	豚 4,000頭
③従業員数	14人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	家畜ふん尿 : 自己堆肥化 家畜の死体 : 処理業者への委託処理

(日本工業規格 A列4番)



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

統括責任者

社長

廃棄物処理方法決定

管理者

本社・管理部長

廃棄物処理に関する責任

 運搬・処理業者との契約
 マニフェストの保管・管理
 行政への報告

推進者

農場長

廃棄物排出実務責任者

マニフェストの交付・管理

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類

家畜の糞尿

家畜の死体

排 出 量

11172.8 t

24.43 t

(これまでに実施した取組)

家畜ふん尿 : 自己堆肥化

家畜の死体 : 処理業者への委託

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類

家畜の糞尿

家畜の死体

排 出 量

12000.0 t

25.00 t

(今後実施する予定の取組)

家畜ふん尿 : 自己堆肥化

家畜の死体 : 処理業者への委託

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
-----	-------------------------------

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜の糞尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	11172.8 t	t
	(これまでに実施した取組) 自己堆肥化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜の糞尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	12000.0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 自己堆肥化		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t

		(今後実施する予定の取組)
--	--	---------------

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜の死体	
	全処理委託量	24.43 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	24.43 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

		(これまでに実施した取組) 処理業者への委託処理
--	--	--

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜の死体	
	全 処 理 委 託 量	25.00 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	25.00 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 動物性飼料原料として有効活用するため、従来通り処理業者へ委託する。		
	※事務処理欄		